

第6回あづみのパークコミュニティ会議概要

- 1 日 時 平成29年6月27日(火) 午後2時00分から午後3時30分まで
- 2 会 場 国営アルプスあづみの公園管理センター2階会議室
- 3 出席者 あづみ野穂高温泉旅館組合 組合長 辻谷 洋一  
安曇野ペンション協議会 理事長 薄井 満介  
国土交通省関東地方整備局 長野国道事務所 副所長 大里 弘人、公園課長 篠遠 富恵  
烏川溪谷緑地 環境管理事務所 所長 佐々木 俊之  
安曇野市観光協会 副会長、(株)ほりてーゆー 代表取締役 太田 謙  
堀金地域 岩原区 代表区長 浅野 長彦、会計担当区長 田口 修司、  
公民館管理区長 栗津原 稔  
岩原の自然と文化を守り育てる会 事務局長 南 健児  
国営アルプスあづみの公園管理センター 管理センター長 緒方 京一、企画広報課長 内田 利幸  
穂高地域 牧区 区長 古幡 敬  
安曇野建設事務所 所長 高橋 智嗣、維持管理課長 長澤 徹、維持管理担当係長 宮澤 俊吉  
安曇野市 農林部 耕地林務課 耕地林務課長補佐 佐藤 明利  
商工観光部 観光交流促進課 主査 末永 純一  
都市建設部 部長 横山正、都市計画課 課長 久保田 薫  
課長補佐 大月 力三、主査 御子柴 昌善
- 4 会議概要 作成年月日 平成29年7月16日

協議事項等

I. 会議の概要

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 会議事項
  - (1) 国営アルプスあづみの公園からの情報提供
  - (2) 県営烏川溪谷緑地からの情報提供
  - (3) その他情報提供・提案
  - (4) 意見交換
  - (5) その他
- 6 閉会

II. 議事の概要

- 1 開会  
薄井副会長
- 2 あいさつ  
辻谷組合長

皆さんこんにちは。本日は第6回目のパークコミュニティ会議ということで、スムーズな議事進行を心

掛けたいと思っていますので、皆様のご協力をよろしくお願いします。

#### 大里長野国道事務所副所長

皆さんこんにちは。昨年の6月に国営公園が全園開園しましたので、公園整備から維持運営管理を行うようになりました。事務所の名称は、国営公園事務所から長野国道事務所になりました。本日は、この安曇野地域の観光資源を活用して地域の活性化に繋がるよう、活発な議論ができればと思います。また、平成31年度には信州緑化フェアがありますが、それを睨んでではなく、その時には更に加速するくらいの気持ちでやっていきたいと思っています。

#### 高橋安曇野建設事務所長

皆さんこんにちは。安曇野建設事務所所長の高橋でございます。皆様方には日頃から県の建設行政にご理解ご協力を賜りありがとうございます。平成31年度の信州緑化フェアでは、県営烏川渓谷緑地がサブ会場となっており、期間中はたくさんの観光客が見込まれますので、皆様と情報共有していく必要があると思います。

また、大天井岳線入口において、植樹帯を小さくしてインターロッキングにし、植樹柵に何を植栽するか、維持管理方法についても協議し、地域振興に繋げていければと思っています。

#### 横山安曇野市都市建設部長

皆さんこんにちは。都市建設部長の横山でございます。日頃、安曇野市政にご理解とご協力をいただいていることに対しましてこの場を借りて御礼を申し上げます。本日は第6回目のパークコミュニティ会議ということでお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

また、平成31年度の信州緑化フェアについても、先週末の土曜日に実行委員会が開催され、スタートを切りました。サブ会場である国営公園と県営烏川渓谷緑地及びサテライト会場へのアプローチについて、安曇野ICや豊科駅等で賑わいを創出し、誘客したいと思っていますので、皆様にご協力願いたいと思います。

本会議は国営公園及び烏川渓谷緑地の利用を促進し、地元の旅館業、住民の皆様がイベントを活用して、誘客を図ることを目的としています。本日は短時間ではありますが、お集まりの皆さんと活発な意見交換ができればありがたいと思います。

### 3 自己紹介

出席者名簿の順に自己紹介。配布資料の確認。

### 4 会議事項

#### (1) 国営アルプスあづみの公園からの情報提供

##### ア 国営公園からの情報提供（長野国道事務所 篠遠公園課長）

国営アルプスあづみの公園の利用状況は、平成28年度は43万5千人ということで、平成27年度を若干下まわったが、これは秋口の雨の影響と思われる。

平成29年度の月別利用状況については、5月4日に入園者数28,492人となり過去最高を更新した。

ゴールデンウィーク中の4月27日から5月8日の入園者数も、平成28年度から約14,000人増加し、過去最高を記録した。これは、菜の花等の春の花修景にたくさんの観光客が集まったことと、今年は開花時期が遅くなったことも理由としてあると思われる。

アルプスあづみのセンチュリーライドについては、平成21年度から毎年5月の下旬に開催しているが、参加者が年々増加し、平成29年度からは4月と5月の年2回の開催としたが、参加することも難しいイベントになっている。参加者の状況については、現在、県外の参加者が約9割を占め、殆どの

方がこの周辺で2泊滞在している。

詳細は別紙資料へ。

#### イ 公園イベント等について（国営アルプスあづみの公園管理センター 内田企画広報課長）

平成29年度国営アルプスあづみの公園の運営維持管理ということで、地域連携事業やイベント展開を図っている。

あづみの早春賦音楽祭は、17,100人が来園し、そのうちの約3割が県外からの来訪であり、ゴールデンウィークの入場者数の増加の一因となっている。

アルプスあづみのセンチュリーライドは、途中6か所のエイドで地域の方の協力で地元特産品の振る舞いがあり、参加者の方は楽しまれている。日経プラスワンの、「初心者も快走！自転車イベント10大会」で全国第3位にランクインした。

農家民泊事業では、当公園が事務局となり、安曇野市等に農家民泊協議会を組織してもらい、平成28年度には130軒の農家に18校、3,155人の生徒を迎えています。利用団体も年々増加している。

安曇野地域文化伝承の取り組みでは、昨年開園した里山文化ゾーンでは、「さとやま楽校」として、やまこの教室・田んぼの教室のプログラムを実施している。

安曇野特有の自然環境の保全の取り組みとしては、レッドデータブックに記載されている「オオルリシジミ」の保護対策会議や南安曇農業高校等と連携して、貴重な生き物やそれを育む環境を保全・創出する取り組みを行っている。

平成29年度から堀金・穂高地区ではドッグラン、遊具が新規整備され、大町・松川地区ではMTBパークの運用が開始されている。

花修景については、春はチューリップ・菜の花、夏はサンパチェンス・ソバ・ヒマワリ、秋はコスモスというふうに展開している。

イベント事業については、夏のアルプス大冒険として、ウォーターアドベンチャー等のイベントを計画している。特別イベントサマーイルミネーションについても、帰省中の方々等の観光需要を喚起できるように昨年に引き続き開催する。詳細は別紙資料へ。

その他として、平成29年度の10月に入園者500万人達成を想定している。信州緑化フェアにも積極的に協力・参画していきたい。

詳細は別紙資料へ。

#### (2) 県営烏川溪谷緑地からの情報提供

##### ア 建設事務所からの情報提供（安曇野建設事務所 宮澤維持管理担当係長）

烏川溪谷緑地の資料については、信州緑化フェアにおいてサブ会場になる当緑地のPR用のA1パネルを紙ベースにしたものである。

豊科大天井岳線公園入口付近の資料については、昨年からの会議で話題となっている入口500m部分の植樹帯について、一部植樹帯を形成しインターロッキングで化粧を施してきた。今後は、両側歩道内の植栽帯はインターロッキングで柵形式にし、中央分離帯の植栽帯はインターロッキングを敷設する予定である。県道余地については、南安曇農業高校の就労促進事業として、県道敷地を使用しての測量実習、県道余地を使用しての施工実習（ポケットパーク、案内看板設置、植栽等）を行いたい。これらについては、地元の協力が必要であり、信州緑化フェアを契機に心機一転、アダプトのような形で地元と協力して取り組みたい。

詳細は別紙資料へ。

イ 公園イベント等について（烏川溪谷緑地 佐々木環境管理事務所長）

からすの学校については、100回目を数え、参加者には概ね好評を頂いている。苔の観察会については、最近苔の人気が高く、名古屋から参加した方もいた。その他のイベントについても、計画通りに進めていきたい。

詳細は別紙資料へ。

(3) その他情報提供・提案

ア 平成31年度全国都市緑化信州フェア基本計画についての概要説明、穂高駅前広場の完成についての説明。

詳細は別紙資料へ。

（安曇野市都市計画課 大月補佐）

イ 安曇野市内の平成29年度イベント開催スケジュール等の説明。

詳細は別紙資料へ。

（安曇野市観光交流促進課 末永主査）

ウ 里山再生計画の具体的取組「さとぷろ。」の説明。

詳細は別紙資料へ。

（安曇野市耕地林務課 佐藤補佐）

エ 構成団体からの情報提供

平成29年度旧安楽寺古池から岩原城に連なる遊歩道整備事業（遊歩道ルートイメージ）について長野県から元気づくり支援金事業として採択を受けた。地元等への観光誘客のためにも、今後ご協力願いたい。

詳細は別紙資料へ。

（岩原の自然と文化を守り育てる会 事務局長 南 健児）

(4) 意見交換

Q 豊科大天井岳線公園入口付近の整備について、希少動物がいる場所についても整備を行わないと現場は荒れて景観を害していると思われる。（岩原の自然と文化を守り育てる会 南事務局長）

A 知見のある方に見てもらわないといけない。（安曇野建設事務所 長澤維持管理課長）

ヒメシロチョウの棲息環境だったので、その植栽帯は残してある。

（県営烏川溪谷緑地 佐々木環境管理事務所長）

Q 有害鳥獣の出没が多く、平成31年度の信州緑化フェアに向けて、観光客が安全に歩けるか疑問である。今年になってからクマも多い。岩原区においても、山口家から北の地区ではサルが出没している。最も心配なのはこのサル害であり、観光客等に餌付けをされると昔の日光のように人間を襲うようになることも考えられる。安全面から、公園に棲みついている有害鳥獣への対策も必要ではないか。安曇野市全体として考えないといけないのではないか。（岩原区 浅野代表区長）

A サルについては、公園開園当初からゴミ箱を置かない、餌やりをしないような対策はしてきたが、全ての侵入を止めるのは難しいし、捕殺することもできない。クマについても、電気柵等で対策をしているが、全ての侵入を止めるのは難しい。若干数だが捕獲して、再び公園に侵入すれば分かるように発信機を付けて山に返すことはしている。7月から9月の開園前については、パトロールをしたり、下草刈りも行っている。（長野国道事務所 篠遠公園課長）

(5) その他 次回は、来年2月に開催予定としたい。（事務局）

5 閉会

薄井副会長により閉会